

コンコンと湧き出る清水

① 布勢の清水

布勢平神社境内の岩の下からコンコンと湧き出ており、周辺には「梅花藻(ハイカモ)」が自生している。

現在では集落内の道沿いの他に、県道沿いの3ヶ所に流し放しの給水口も設けられており、通年利用者が絶えない。



check! ◆2008年(平成20年)「平成の名水百選」に選定
◆2014年(平成26年)「山陰海岸ジオパークのジオサイト」に認定

鹿野城主 亀井茲矩のお墓

④ 亀井茲矩公の墓

田仲の明星ヶ鼻にある墓碑は、鹿野城主亀井茲矩の遺命によりこの地に建てられたものである。石碑は高さ3m、2段の石垣の台座の上に建てられており、碑には慶長17年(1069年)正月二十六日に没した「中山道月大居士」のために、願主孝子(茲矩の子政矩)が建立したと刻まれている。



check! ◆2018年(平成30年2月)「国指定史跡」

秋の風物詩 伝統的な漁法

⑥-2 大堤のうぐい突き

毎年秋に、溜まった土やゴミを取り除くために水抜きが行われるが、この時溜池の魚を獲るために行われるのが「うぐい突き」と呼ばれる漁法で、この地の秋の風物詩となっている。



漁具は、竹で編んだ底の無い樽型のもので、これを水中に突き、魚の反応があれば獲るという方法で、この漁法は亀井公が御朱印船貿易によってシャムから持ち帰ったものと言われている。

一本木で彫刻された 微笑みの仏像

② 木喰仏像

飯里の延命庵に、江戸中期に遊行僧として著名な木喰上人が制作したと言われる微笑みの仏像「十一面観音菩薩立像」が安置されている。仏像は像高76.5cm。ケヤキ材を用い円形光背を負って両手で宝瓶を支え、三重の蓮華台にのる姿全てが一本木で彫刻されている。



check! ◆1983年(昭和58年)「県保護文化財」に指定

子宝地藏の脇から流れ出る 清水

⑤ お地藏さんの水

睦逢の村道沿いにたたずむ、子宝地藏の脇から流れ出る清水は、古くから地元住民に親しまれ飲用水として利用されてきた。



check! ◆2014年(平成26年)「とっとり因伯の名水」に選定

4月~5月上旬、6千株が咲き誇る

⑥-3 大堤の芝桜

2013年(平成25年)から大堤法面に芝桜の植栽事業が始まり、4月から5月上旬にかけて6千株の芝桜が華やかに咲きほこっている。

また、他の場所でも芝桜の植栽が進んでいる。



樹齢400年の 県内で3番目に大きいと言われる

③ 阿弥陀の森 大タブの木

地区の中央部に位置し、樹齢400年を超える大タブの木は県内で3番目に大きいと言われる。樹冠、幹の状態など他に比べて容姿が美しく老木の威厳がある。



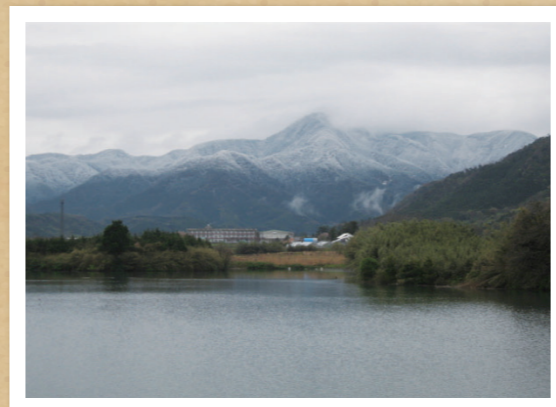
check! ◆1991年(平成3年)「とっとりの銘木百選」「市指定文化財」

430年前にできた大堤池

⑥-1 大堤池

今から430年前、当地を治めた鹿野城主亀井茲矩が領内の新田開発を行い、必要な水を確保するために造った約4ヘクタールの溜池が大堤池である。

当池は河岸段丘の地層がよく見られ、山陰海岸ジオパークのジオサイトに認定。



見事なしだれ桜

⑦ 会下のしだれ桜

民家の庭に植えられたしだれ桜が連なっている様子は見事で、道行く人の目を楽しませている。

